

新潟コンピュータ専門学校

学校自己評価報告書 (2025年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 生徒や保護者に対して教育目標、教育方針の周知を行っているか。

2. 教育活動

- 専門業界、企業などと連携し特色ある教育活動を行っているか
- 全職員と共通認識を持って、協力し合い学生の指導を行っているか
- 学生の家庭と連絡をきめ細かく行っているか
- 保護者に対して、お便りや電話、SNS・ホームページなど、積極的に情報を伝える努力をしているか
- 学校説明会、パンフレットなどの情報提供は適切であるか
- 校内での新型コロナウイルス感染・蔓延防止策は適切に行われているか
- 省庁指定の養成校や職業実践専門課程など運営に関する法的根拠を理解して実践しているか
- 授業に先立ち、動機付けをしっかりと行っているか
- 学生が真剣に授業に取り組めるよう指導を行っているか
- 社会の動き、業界の動向を積極的に知るよう努力・吸収し、それに応じた授業を編成しているか
- 教育目標に応じたカリキュラムやシラバスを作っているか
- カリキュラムやシラバスに沿って創意・工夫された授業を行っているか
- 個々の学生の能力、適性に応じた指導をしているか
- 社会人としてのマナー教育をしているか
- 率先して挨拶を行っているか
- 学生のコミュニケーション能力の育成に向けた教育をしているか
- 学生の自立・自律を促す教育をしているか
- 学生の進路について保護者と情報の共有ができているか
- 学校行事や課外活動などを通し、学生の積極性、協調性、自主性を育てる教育をしているか
- 学生は学校生活を楽しんでいるか

3. 学生支援

- 教職員は、学生の悩み等について適切に相談に応じているか
- 教職員は、学生に進路指導、模擬面接、個別面談など就職に関する支援を適切に行っているか
- 教職員は、学生が進路決定に必要な情報を提供しているか

4. 教育環境

- 学校では専門業界や企業が求める人材を育成するための施設・設備が整っているか。
また、有効に活用されているか
- 教職員は防災に対する意識付けを学生に行い、避難経路・避難場所を熟知し、災害時にスムーズに避難誘導ができるか

5. コメント記入

- 学生に対し、NCC が誇れる教育内容や実績、取り組みなどについての具体的なコメント
- 学校をより良くするために、学校に対し提案したい改善案などの具体的コメント

評価方法

- 2020 年度より、Web アンケート形式で実施。
それに伴いアンケート項目と集計方法が変更となった。
よくあてはまる …5
ややあてはまる …4
あまりあてはまらない…3
全く当てはまらない …2
わからない …1
- 今年度より、コメント記入を追加

1. 教育理念・目標

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
生徒や保護者に対して教育目標、教育方針の周知を行っているか	4.0	4.2

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

誠 実

明 朗

進 取

【教育目標】

建学の精神

：教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。

スペシャリストの育成

：卒業後すぐに役立つ資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する。

豊かな人間形成

：社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持ったビジネスマン、ビジネスウーマンを育成する。

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 専門分野の企業と連携した最新技術教育を実践している。
 - ・ 卒業後の進路選択に備えて専門分野の資格取得に対応するためのカリキュラムを整備している。
 - ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
 - ・ 国際的な視野を養うため、海外研修旅行を実施している。(近年はアメリカ／韓国)
 - ・ 専門分野の第一線で活躍されている講師を招き、学生への特別授業や定期的に職員の勉強会や特別講演会を実施している。最近では生成 AI に力を入れている。
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。
- 保護者には新入生保護者見学会および保護者就職説明会、そして定期的な保護者相談会を実施し、学校活動の周知や学生状況の情報交換を行っている。

2. 教育活動

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
専門業界、企業などと連携し特色ある教育活動を行っているか	4.5	4.7
全職員と共通認識を持って、協力し合い学生の指導を行っているか	4.0	4.2
学生の家庭と連絡をきめ細かく行っているか	4.0	4.2
保護者に対して、お便りや電話、SNS・ホームページなど、積極的に情報を伝える努力をしているか	3.8	4.5
学校説明会、パンフレットなどの情報提供は適切であるか	4.0	4.5
校内での新型コロナウイルス感染・蔓延防止策は適切に行われているか	3.6	4.8
省庁指定の養成校や職業実践専門課程など運営に関する法的根拠を理解して実践しているか	3.8	4.5
授業に先立ち、動機付けをしっかりと行っているか	4.3	4.3
学生が真剣に授業に取り組めるよう指導を行っているか	4.0	4.5
社会の動き、業界の動向を積極的に知るよう努力・吸収し、それに応じた授業を編成しているか	4.5	4.3
教育目標に応じたカリキュラムやシラバスを作っているか	4.0	4.2
カリキュラムやシラバスに沿って創意・工夫された授業を行っているか	4.4	4.1
個々の学生の能力、適性に応じた指導をしているか	4.0	4.4
社会人としてのマナー教育をしているか	4.5	4.5
率先して挨拶を行っているか	4.5	4.8
学生のコミュニケーション能力の育成に向けた教育をしているか	4.0	4.2
学生の自立・自律を促す教育をしているか	3.9	4.2
学生の進路について保護者と情報の共有ができているか	3.9	4.4
学校行事や課外活動などを通し、学生の積極性、協調性、自主性を育てる教育をしているか	4.2	3.9
学生は学校生活を楽しんでいるか	4.4	3.9

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
(※昨年度は後期1回のみ実施であったが、今年度は通常通り年2回実施した。)
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。

- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。
- 専門分野の第一線で活躍されている講師を招き、定期的に職員の勉強会を実施し、チームで競わせながら互いの知識・技能の向上に努めている。最近では生成 AI に特に力を入れている。
- グループ校の中でもいち早くオンライン授業を取り入れ、2020 年 3 月の春期国家試験対策から実施している。
- コロナ禍を経て、現在 Teams を活用しハイブリッド型授業を実施している。
- 今年度実績：WRO japan2024 ARC（自動運転ロボット大会）全国優勝（6 連覇）

3. 学生支援

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
教職員は、学生の悩み等について適切に相談に応じているか	4.3	4.6
教職員は、学生に進路指導、模擬面接、個別面談など就職に関する支援を適切に行っているか	4.4	4.7
教職員は、学生が進路決定に必要な情報を提供しているか	4.4	4.7

(2) 現状

- 進路・就職相談について、担任が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、学科枠を超えた求人に対しても分野の学科長を交えた進路・就職相談を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 課外活動については、一定の基準を満たした団体について、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。
- 年2回（6月・12月）に保護者会を開催している。希望者には個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。オープンキャンパス時に保護者対象の説明会を実施している。
- 卒業生に対しては校友会を通じて求人情報等の各種情報を提供している。一昨年度から校友会 Facebook ページを開設した。また、卒業生がスキルアップを図ることができる講座を付帯事業として情報提供している。一昨年度は文科省の委託事業として 3DCG アニメーション講座を実施。
- 今年度も厚生労働省および新潟テクノスクールの委託事業「長期人財育成コース 情報システム科」「短期人財育成コース DS Web クリエーター科1」を受託。長期は7名入校、短期はオンライン授業が認められずに中止となった。
長期人財育成コースでは今年度は5名全員が無事修了し、全員が就職も出来た。

4. 教育環境

(1) 採点

評価項目	今年度	昨年度
学校では専門業界や企業が求める人材を育成するための施設・設備が整っている。また、有効に活用されている。	4.3	4.5
教職員は防災に対する意識付けを学生に行い、避難経路・避難場所を熟知し、災害時にスムーズに避難誘導ができる。	4.0	4.2

(2) 現状

- 本校では学生の個人 PC 制を導入し、学内外にて作品制作が出来る環境づくりを実践している。このため学内の無線 LAN 環境を整備し適切なネットワーク環境の提供に努めている。
- NSG ホールディングスグループ 100%出資の株式会社新潟人工知能研究所（代表取締役黒田達也）と連携した授業やインターンシップを実施し、実践的なデータ・サイエンスの学びの場を学生に提供している。
- 2019 年度より校舎移転をし、新たな実習室や施設で運用できている。
 System Lab … VUE 試験環境（Microsoft、ORACLE、Cisco、CompTIA、Unity）
 ※Unity は全国専門学校初トレーニングパートナー校
 Network Security Lab … Cisco 教育提携（世界標準のネットワーク知識・技術）
 新潟県警サイバーパトロールボランティア活動
 中学生上級学校訪問時の実習（ゲームプログラミング体験）
 Game Lab … 大型ワイドモニターで開発効率向上、デバッグ等の検証
 VR Lab … VR 専用機器多数導入（Vtuber でも活用）
 Design Lab … 全台 Mac、業務用大型プリンタで各種掲示物内製
 VTuber Lab … VTuber 制作のため、校内唯一の防音設備
 3DCG Lab … 3DCG に特化した PC30 台に液晶タブレット全台設置
 esports Lab … esports に特化したゲーミング PC を 30 台設置
 esports スタジアム … esports タイトルの最大対戦人数（5vs5）に対応し、
 最大 10 人で対戦できる esports 施設
- NTT ドコモ 5G アンテナを校舎内に 3 か所設置（全国専門学校初）
- 株式会社ブルボンの人気商品を擬人化した VTuber 動画制作等、これまで県内外の多くのインターンシップを実施

5. コメント記入

学生に対し、NCC が誇れる教育内容や実績、取り組みなどについての具体的なコメント

- ・親身に、しっかり勉強・進路について向き合って学生とコミュニケーションを取っております。
- ・実践を重視している点。
- ・ロボット、プログラミング、サイバーセキュリティに関する全国大会での入賞実績
- ・作品展示会
- ・企業連携や実習授業、生成 AI への取り組み等、業界の最先端を学ぶことができる。
- ・企業連携
- ・技術力を向上させるための実践的な授業を行っております
- ・新しい技術は早めに検証し、学生に展開しております
その結果、セキュリティやロボットのコンテストで全国優勝の実績を挙げております"
- ・新潟県警察サイバーボランティア
- ・「MBSD Cybersecurity Challenges2024」全国 3 位、6 位
- ・「マイクロマウス北陸信越地区大会」2 位～5 位"
- ・年度末作品展示会（2024 年度来校企業 20 社）
- ・ロボット全国大会《ARCo》6 連覇達成
- ・MBSD サイバーセキュリティコンテスト 3 位
- ・全学生に対して AI 教育を実施
- ・最先端技術を学び、最先端分野での就職を果たすことが可能な学校。
- ・コミュニケーション能力が低い学生でも、業界も同様の理解があるので、手厚い新人研修がある企業の就職が可能。
- ・学生たちは様々な資格取得の知識や情報収集能力だけではなくコンペ参加で実践力の習得が可能
- ・企業にとって多いにアピールとなる実績を積むことができる。
- ・就職指導を行っている中で、学生の希望に沿った企業の紹介を行っている。また、学生の能力に応じて、業界や職種をチェンジして受験するようにきめ細かな指導を行っている。必要に応じて、保護者面談を設定し、業界や職種をチェンジする場合は、保護者の理解を得られるように就職指導を行っている。
- ・生成 AI の導入と企業との教育提携による先端技術教育の向上。先端技術の学びを産学官連携の取り組みとして実践している。
- ・MBSD コンテストの結果
- ・年度末発表会（企業を 20 社以上お呼びしての大々的な展示会）
- ・企業を多数呼んで作品発表会を開催するなど

以上